



「小江戸川越防犯のまちづくり情報」
メール配信サービス実施中
kawagoe.bouhan@mpme.jp
*登録を希望する方は、空メールを送信してください。

小江戸川越防犯けいはつ隊(少年補導員によるパトロール)

市では毎週、少年補導員の皆さんによるパトロールを実施しています。

パトロールにあたっては、青少年の皆さんが事件や事故にあわないように、見守り活動を行っています。また、青少年の非行を未然に防ぐように青少年の皆さんに、「こんにちば」「気を付けて帰りましょう」など、積極的に声をかけています。少年補導員の皆さんは、こうした青少年への声かけを「愛のひと声運動」と呼んで実施しています。

平成十八年中に声かけをした青少年の人数は、六百人以上でした。これは、自転車無灯火で運転している人への声かけや、早めの帰宅を促す声かけなどが含まれています。

パトロールは、青少年の集まる広場や市民の皆さんから寄せられた情報を基に、非行防止が効果的に行えるよう努めています。

今後、青少年の健全育成活動に対する市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

問い合わせ：青少年課青少年担当

TEL内線2493

人権教育シリーズ

子どもの虐待を理解するために⑬

人権推進課人権推進担当・TEL内線2282

このシリーズは、平成十七年二月に小児科医・坂井聖二さんを招いて行った、人権問題講演会の要旨をまとめたものです。

家族を援助しなければいけないとき、誰を最優先にするのか。小さな子どもの援助をするためになら、今では私はこの母親とけんかをしたり対立したりすることも恐れませんが、それは決して、親とけんかすることが目的ではないからです。そうすることが、最終的には母親の援助にも必ずつながるはずだと信じるようになったからです。むしろ抵抗されることは当然だと思ってくらいにして、その子どもを援助しなければいけません。それからもう一つは、幼い子どもはことばを持ちません。自分から自分の状況を伝えることができない。子どものメッセージを、子どもの発育状態や外傷の状態から受け取らなければいけません。そういう意味でこの二つのケースは、援助しなければいけないときに、最優先で援助すべきは何なのか。もう少しわかりやすく言うと、緊急に援助するべき対象と長期的な視野に立って援助するべきものとは違うということです。ね。もちろん、子どもが生命を失えば子どもがいちばん大きな被害者であり、人権をじゅうりんされたことになりますけれども、この母親も警察から調査を受けたり、もつと違う介入のしかたをすれば加害者にならなかったはずだ、そういう意味では母親に対しても、子どもに対してだけではなくて私は責任があると思っています。子どもが重たい病気で退院させるべきでないのに退院させてしまつて、子どもが自宅で亡くなつたらそれは小児科医の責任ですよ。あるいは、母親が子どもの病気をちゃんと管理できなくて、薬も飲ませることができないとわかつているのに退院させて、子どもに何かあれば、やっぱり小児科医の責任ですよ。そういう意味です。だからそのときを守るべきものの順番を考えておかないと、それこそたいへん大きな損失を被つてしまふということです。(つづく)

市職員を装った「振り込め詐欺」にご注意

市職員を装い、「還付金がある」と言って現金自動預け払い機(ATM)を操作させる「振り込め詐欺」とされる事件が、川越市の周辺市町村で発生しています。

市役所では医療費・税金などの還付金受け取りのため、市民の皆さんにATMの操作をお願いすることや、金融機関の口座を指定して振り込みを求めることは、絶対にありません。このようなことがあった場合は、家族や市に相談しましょう。問い合わせ…安全安心生活課防犯推進担当・TEL内線2472



緊急通報

みんなの作文

卒業式の自分へ

大塚小学校六年

鈴木 かなめ

卒業、おめでとう。
元氣ですか。カゼは、ひいていませんか。

今、私は、目標を立てて、がんばっています。その目標とは、

一、何でも積極的にかんばること。

二、約束は必ず守ること。

三、大塚小を卒業する時、気持ちよく卒業できるようにすること。

三つ全部できるように、努力しています。



一年後、大塚小を卒業した私は、目標をはたせているのか楽しみです。

今思えば、今まで

の十一年間いろいろなことがあり

ました。

うち園に入園して、たくさん友達でできました。せっかくだと友達と、別れた悲しい思い出もありました。

小学校に入学し、新しい友達と、遊んでいる時は、悲しいことも忘れてしまいたいぐらい楽しかったです。

でも四年生の時に、引越しが決まり、仲の良かったみんなと会えないと思うととてもつらかったです。でも大塚小のみんなは、とてもやさしくしてくれて、うれしかったです。

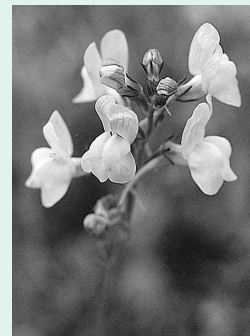
それから、二年が過ぎ六年生になりました。

一年後の私は、いろいろな思い出のつまった大塚小を卒業して中学校へ行きますね。楽しみです。

これから、つらい、楽しい、その感情を忘れずに、がんばっていきましょね。
*ふりがなは広報室で付けました。

おしゃべり倶楽部 218 植物あらかると

ヒメキンギョソウ



安比奈親水公園で花の写真撮っていると、高さ20cmほどで先端に1cmほどの小さな花を付けた植物

物を見つけました。周囲を見ると、ところどころに咲いています。

調べてみると、ヒメキンギョソウという花でした。同じゴマノハグサ科のキンギョソウに似た、小さな花を咲かせるので、名付けられたそうです。しかし、これは別名で、正式な名前はリナリアといいます。花言葉は「私の恋を知ってください」。ポピーやヤグルマソウなど背の高く、派手な植物に囲まれ、ひっそりと咲いている様子から、好きな人の様子を遠くから眺めてドキドキしているように見えました。

短歌

四元仰・選

俳句

石川俊一・選

国寶の旅つがなき春日和

矢島時枝(喜多町)

古濠の底を掠めて燕来る

田口晨一(南通町)

樟若葉武徳殿よこ男子校

高田百合(宮下町二丁目)

玉の子を得て春光の菩薩かな

村上寿子(山田)

水あびの雀に桜ふりかかる

岡部久美子(笠幡)

川柳

小川正夫・選

半分は飲まぬ薬に待たされる

和田ふみの(松江町二丁目)

干せば降り取り込みや晴れる梅雨の空

武島征一郎(今福)

一筆の便りが母を安堵させ

田中耕平(笠幡)

梅雨晴れ間大活躍の洗濯機

我妻信子(砂)

もめごとに母さんの眼は笑ってる

樽見義雄(石原町二丁目)

応募方法(8月掲載分は6月29日(金)必着)

- 短歌部門＝当季雑詠3首まで、俳句部門＝当季雑詠2句まで、川柳部門＝雑詠3句まで
- 市内在住・未発表・創作のもの・かい書で明記・すべての漢字にふりがなを付ける・作品の返却なし・掲載時に選者が手を加える場合あり
- ハガキに部門・作品・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、〒350-8601川越市役所広報室

有田杉江(南台二丁目)
岡本孝子(今福)
金田トク江(三光町)
寺田貞二(仙波町二丁目)
西角美知子(広谷新町)